

平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	資金運用事務事業				
根拠法令等	地方自治法、地方財政法		A(法令)	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象(受益者)	歳計現金を
手 段	効率的な資金運用を実施し
想定する成果	水道事業の経営安定を図る。

事業の概要

(円)

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
受取利息	453,485	1,936,411	3,300,000
営業外収益	6,096,649	8,061,425	8,040,000

成果指標

成果指標名	受取利息	営業外収益に対する受取利息の割合
成果指標の説明	受取利息	受取利息/営業外収益(他会計負担金は除く)

事業の進捗状況 (水道事業会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	3,300
	実績	453	1,936	-
成果指標	計画	-	-	41.0%
	実績	7.4%	24.0%	-
事業費	事業費	5	5	5
	人件費	805	779	789
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	810	784	794
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	810	784	794

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	-	18評価	-	
達成度	2	-	2	-	利息の変動に影響される。
経済効率性	3	-	3	-	費用に見合った効果はある。
事務効率性	3	-	3	-	事務量に見合った効果はある。
必要性	-	-	-	-	効率的に資金運用し、最大の利潤を得る必要がある。
小計	8	-	8	-	
施策への貢献度	2	-	2	-	収益に占める割合は小さいが、一定の貢献はしている。
合計	10	-	10	-	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	-	A	-	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
現在までに運用しているのは、大口定期預金である。	

今後改善すべき点

無利息型普通預金の変更、国債等の購入を考える必要がある。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	受付・収納等総合業務委託事業				
根拠法令等	地方公営企業法施行令		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	受付・収納等の総合業務を
手 段	民間業者に委託することにより
想定する成果	受付・収納等の総合業務を円滑かつ効率的に行わせることができる。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績（3ヶ月）	平成19年度計画
業務従事者数	-	22人	22人
総合業務委託料	-	14,026,950	56,107,800
営業費用	-	1,694,756,844	1,724,599,000

成果指標

成果指標名	業務従事者一人当たりの委託料	営業費用に対する業務委託料の割合
成果指標の説明	業務従事者数/総合業務委託料	総合業務委託料/営業費用

事業の進捗状況（水道事業会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	2,551
	実績	-	638	-
成果指標	計画	-	-	3.3%
	実績	-	0.8%	-
事業費	事業費	-	14,027	56,108
	人件費	-	12,455	11,045
	(人数)	-	1.6	1.4
	合計	-	26,482	67,153
財源内訳	国	-		
	県	-		
	市債	-		
	その他	-		
	一般財源	-	26,482	67,153

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	-	18評価	-	
達成度	3	-	3	-	受付・収納等総合業務を平成19年1月1日より民間委託した。
経済効率性	3	-	3	-	直営に比べ、安価に事業が執行できている。
事務効率性	2	-	2	-	平成19年1月1日から委託したため、3ヶ月間は、職員の指導により事業を行った。
必要性	3	-	3	-	総合業務委託事業は、民間が実施しても、十分に執行できる事業である。
小計	11	-	11	-	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	14	-	14	-	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	-	A	-	業務は順調に実施されており、市民サービスの向上にもつながり、非常に有効な事業である。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
受付業務、開閉栓業務、検針業務、緊急漏水待機業務、収納業務、を総合的に包括業務委託し、さらに、休日お客様センターを開設し、市民サービスを向上することができた。	平成19年1月1日より3年間で約2,700万円。(受付、収納等総合業務委託料)

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水道メーター等検針事業		
根拠法令等	蒲郡市水道事業給水条例	A 法令	B 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び市内在住の水道使用者に
手 段	委託検針員によるメーター検針を行い、使用水量を認定し
想定する成果	水道料金等に係るデータを作成する。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績（9ヶ月分）	平成19年度計画
検針委託金額	13,049,395円	9,900,530円	受付・収納等総合業務委託事業
検針件数	183,666件	139,389件	
営業費用	1,729,636,393円	1,694,756,844円	

成果指標

成果指標名	1件あたりの検針委託料単価	営業費用に対する検針委託料の割合
成果指標の説明	検針委託金額/検針件数	検針委託金額/営業費用 × 100

事業の進捗状況（水道事業会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			-
	実績	71.1円	71.0円	-
成果指標	計画			-
	実績	0.8%	0.6%	-
事業費	事業費	13,286	10,160	-
	人件費	6,436	6,228	-
	(人数)	0.8	0.8	-
	合計	19,722	16,388	-
財源内訳	国			-
	県			-
	市債			-
	その他			-
	一般財源	19,722	16,388	-

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	検針により使用水量を性格に把握し、水道料金等を調定している。
経済効率性	3	2	3	2	平成19年1月1日より民間委託を実施し、19年度よりコスト削減できる。
事務効率性	3	3	3	3	平成19年1月1日より民間委託を実施し、19年度より事務が効率化する。
必要性	3	3	3	1	水道料金徴収のために必要不可欠である。
小計	12	11	12	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	15	11	15	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	B	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成19年1月1日より民間委託を実施し、19年度よりコスト削減できる。	平成19年1月1日より3年間で約2,700万円。（受付、収納等総合業務委託料）

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

水道料金等調定事業は、平成19年1月1日より民間委託を実施したため、業務費に受付、収納等総合業務委託料として計上する。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水道料金等調定事業		
根拠法令等	蒲郡市水道事業給水条例		A 法令	B 条例	C 規則 D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民及び市内在住の水道使用者に
手 段	毎月定められた期日までに水道料金等を調定し
想定する成果	公営企業における営業収益を確保する。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
調定額	1,806,325,817円	1,786,072,962円	受付・収納等総合業務委託事業
調定件数	183,856件	186,524件	
営業費用	1,729,636,393円	1,694,756,844円	

成果指標

成果指標名	調定1件あたりに対する営業費用	営業費用に対する調定額の割合
成果指標の説明	営業費用/調定件数	調定額/営業費用 × 100

事業の進捗状況 （ 水道事業会計 ） （千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			-
	実績	9.4	9.1	-
成果指標	計画			-
	実績	104.4%	105.4%	-
事業費	事業費	177	195	-
	人件費	4,827	4,671	-
	(人数)	0.6	0.6	-
	合計	5,004	4,866	-
財源内訳	国			-
	県			-
	市債			-
	その他			-
	一般財源	5,004	4,866	-

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	3	3	3	検針後、速やかに水道料金を調定している。
経済効率性	3	2	3	2	平成19年1月1日より民間委託を実施し、19年度よりコスト削減できる。
事務効率性	3	3	3	3	平成19年1月1日より民間委託を実施し、19年度より事務が効率化する。
必要性	-	3	-	1	水道料金徴収のために必要不可欠である。
小計	9	11	9	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	12	11	12	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	B	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成19年1月1日より民間委託を実施し、19年度よりコスト削減できる。	平成19年1月1日より3年間で約2,700万円。（受付、収納等総合業務委託料）

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ **見直し、縮小** ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	広報活動推進事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	市内に在住する水道使用者に対し
手 段	水道ホームページ等を通じて、水道事業に関する情報を提供することにより
想定する成果	水道事業の内容を理解してもらい、周知を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
市広報	年2回4ページ	年2回3ページ	年1回2ページ
ホームページ	年25回更新	年12回更新	年24回更新
パブリシティ回数	年2回	年3回	年5回

成果指標

成果指標名	ホームページ更新回数	パブリシティ回数
成果指標の説明	ホームページを更新した回数	新聞社などマスコミに対する広報活動

事業の進捗状況（水道事業会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	24回
	実績	25回	12回	-
成果指標	計画	-	-	5回
	実績	2回	3回	-
事業費	事業費	19	15	10
	人件費	2,414	1,557	1,578
	(人数)	0.3	0.2	0.2
	合計	2,433	1,572	1,588
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,433	1,572	1,588

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	内容、回数により成果が出る可能性はある。
経済効率性	3	3	3	3	経費がかからない事業のため、効果は出ている。
事務効率性	2	2	2	2	効果的な周知活動が出来ている。
必要性	-	3	-	3	水道事業を理解していただく上では必要不可欠である。
小計	7	10	7	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	
合計	9	10	9	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

今後改善すべき点

一方的な情報提供のみならず、アンケートやモニター制度も導入していきたい。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水道メーター等の入札・管理事業		
根拠法令等	蒲都市契約規則		A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	水道メーター等のたな卸資産に対して
手 段	適正な入札執行による購入及び在庫管理を行い
想定する成果	水道メーター等のたな卸資産の適正な処理を行う。

事業の概要

(円)

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
量水器購入数	5,485個	5,133個	5,736個
量水器費他	12,181,150	12,015,050	19,706,000
営業費用他	1,732,777,553	1,698,224,638	1,728,320,000

成果指標

成果指標名	量水器の単価	営業費用に対する量水器費の割合
成果指標の説明	量水器費 + 量水器修繕費 / 量水器数	(量水器費 + 量水器修繕費) / 営業費用・営業設備費

事業の進捗状況

(水道事業会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	3,436円
	実績	2,221円	2,341円	-
成果指標	計画	-	-	1.1%
	実績	0.7%	0.7%	-
事業費	事業費	13	19	20
	人件費	1,609	2,336	2,367
	(人数)	0.2	0.3	0.3
	合計	1,622	2,355	2,387
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,622	2,355	2,387

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	5～7社の量水器取扱い業者により指名競争入札を実施している。
経済効率性	2	2	2	2	1年間分を単価契約入札し、購入している。
事務効率性	2	2	2	2	年間契約のため、事務量は効率的である。
必要性	-	3	-	3	量水器の購入（入札）は必要不可欠である。
小計	6	9	6	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	
合計	8	9	8	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	単価契約入札により、費用の減少に努力している。
------	---	---	---	---	-------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

今後改善すべき点

他市町の落札単価を参考にして予定価格を決定したい。

平成20年度予算に反映する項目

他市町の落札単価の情報を得て、適切な予算計上したい。

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	受託工事契約事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	愛知県東三河水道事務所及び建設事務所等に対して
手 段	配水管布設替工事等を受託し
想定する成果	水道建設事業の統一かつ一体的な管理を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
工事請負件数	2	4	2
工事請負費	12,895,050	34,120,800	4,500,000
受託工事収益	14,341,800	36,390,000	4,815,000

成果指標

成果指標名	一件あたりの工事請負費	工事費に対する受託工事収益割合
成果指標の説明	工事請負費/工事件数	受託工事収益/工事費 × 100

事業の進捗状況（水道事業会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	2,250
	実績	6,448	8,531	-
成果指標	計画	-	-	107.0%
	実績	111.2%	106.7%	-
事業費	事業費	13	5	5
	人件費	1,609	779	789
	(人数)	0.2	0.1	0.1
	合計	1,622	784	794
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,622	784	794

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	概ね計画どおり実施できた。
経済効率性	3	3	3	3	愛知県等との調整により、市費の負担を削減する。
事務効率性	3	3	3	3	入札は、契約検査課に依頼している。
必要性	-	3	-	3	愛知県等の関連工事に伴う工事であり、市が実施するものである。
小計	8	11	8	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	11	11	11	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	愛知県等の関連工事の受託工事契約については、相手方が費用（工事費、事務費）を負担する。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
受託費の設計金額について、十分精査している。	

今後改善すべき点

事務費額を確保する。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	上下水道部	水道管理課	内線等	2202
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	水道会計経理事業		
根拠法令等	地方公営企業法		A 法令	B 条例	C 規則 D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	水資源
-----------------	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	水道事業の会計経理を
手 段	水道企業会計システムを使用し、迅速かつ正確な事務処理を行うことにより
想定する成果	人件費（時間外手当）を削減する。

事業の概要

（円）

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
システム運用経費	2,742,390	3,037,860	3,037,860
総係費	41,255,000	38,279,971	39,795,000
対象職員	3人	3人	2人

成果指標

成果指標名	総係費（退職給与金を除く）に占める割合	一人当たりの総係費（退職給与金を除く）
成果指標の説明	システム運用経費/総係費 × 100	総係費（退職給与金を除く）/対象職員数

事業の進捗状況（水道事業会計）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	7.6%
	実績	6.7%	7.9%	-
成果指標	計画	-	-	19,898
	実績	13,752	12,760	-
事業費	事業費	2,912	3,171	3,179
	人件費	22,524	22,574	20,512
	(人数)	2.8	2.9	2.6
	合計	25,436	25,745	23,691
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	25,436	25,745	23,691

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	3	2	3	2	新システム導入により、目標どおり進捗している。
経済効率性	3	2	3	2	新システム導入により、見合った成果をあげている。
事務効率性	3	2	3	2	効率良い事務が出来ている。
必要性	-	3	-	3	事務処理の迅速性、操作の簡易性など、適正な運用が必要である。
小計	9	9	9	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	12	9	12	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	A	B	水道事業における水道事業会計システムは、導入により人員削減につながった。
------	---	---	---	---	--------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成16年10月1日より、新水道事業会計システム（操作が迅速かつ簡易である）を導入し、効率的な事務処理を行っている。	2,054千円（18年度事業費 - 19年度事業費）

今後改善すべき点

--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】